

第2510地区 第11グループ



2010~2011

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2010~11年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、 大陸をつなぐ



BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

2010~11年度
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

阿部誠太 会長 テーマ — ロータリー精神の初源に帰ろう —



1月26日 クラブアッセンブリー 酒井正人パストガバナー

《第2276回例会》 第27号 2月2日(水)

本日のプログラム

移動例会

於 亀田八幡宮

★会長 阿部誠太

★幹事 増山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

小笠原商事(店舗賃貸)

代表 小笠原 孝

〒042-0915 函館市西旭岡1丁目3-8

TEL(0138) 50-3116 FAX(0138) 50-3146

(広告掲載：小笠原 孝 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【2月1日現在のアクセス数：11216件(+42件)】

◎1月12日出席報告 (小河 博保 副委員長)

| | | | |
|--------|-------|-------------|-----|
| 会 員 | 24名 | 出席率対象会員 | 23名 |
| | | 出席規定免除会員(a) | 1名 |
| | | 出席規定免除会員(b) | 0名 |
| 当日出席 | 19名 | 当日欠席 | 4名 |
| 他クラブ出席 | 2名 | 出席合計 | 21名 |
| 出席率 | 91.3% | | |

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・2月9日
プログラム

卓話「ふるさと回想
函館・街並みの写真—明治・大正・昭和—」

北海道写真史料保存会 大野 基氏

1 月 26 日の記録

◎司 会 阿部 誠太 会長 ◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ゲ ス ト 函館五稜郭 R.C. パストガバナー 酒井 正人 氏

◎ビジター 函館五稜郭 R.C. 村田 信吾君、林 真彦君、奥田 武彦君
窪田 良弘君、川村 隆夫君

◎会長報告 阿部 誠太 会長

○理事会報告

- ・新会員の定款第 9 条第 3 節(b)による出席規定の免除
- 2 月 2 日(水)の定例理事会は、9 日に変更し開催いたします。

◎幹事報告 増山 正 幹事

- 既にご案内いたしました、当クラブ 2 月 2 日の例会は亀田八幡宮に移動になっています。
- 当クラブ 2 月 16 日の例会は、時間と会場を変更し七飯 R.C との合同例会並びに懇親会を開催いたします。
- 2 月 4 日(金)函館五稜郭 R.C の例会は移動例会に変更です。

◎親睦活動委員会 小河 博保 委員長

ニコニコ BOX 投入報告

酒井パストガバナー……BOX に協力致します。
阿部会長・増山幹事・石橋会員・森 会員・弗田会員・小笠原会員
……酒井パストガバナーを歓迎して

◎卓話「ロータリーの色々な話」 函館五稜郭 R.C. パストガバナー 酒井 正人 氏
カリフォルニア州サンディエゴで開催された国際協議会で、次年度テーマが発表されました。
次年度会長は、インドのグラジャード州にお住まいのカルヤン・バネルジーさんです。
「何かを成し遂げようと思うなら、ありとあらゆる知恵を振り絞らなければなりません。
それには、まず自分自身の内側から始めるしかないのです」
という文書からはじめまして

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」というテーマを発表しました。

「自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく、『出でて奉仕し』、世界で博愛を広げてください」

会長エレクトはまた、「家族」が奉仕の原点となると強調します。

「私たちの住む地域社会とは、単なる個人の集まりではなく、家族によって築かれています。
一つ屋根の下に暮らし、互いを支え、助け合い、共に運命を分かち合っているのが、家族というものです。良き家族が、良き隣人となり、良き地域社会をつくるのです」
と文書をしめくくっています。

昨今、マスコミを賑わせている、タイガーマスク・伊達直人による匿名の寄付行為ですが、第一段階として心を行動にすることにエールを送りたいと思います。

ロータリーはひとつの学校とも捉えられています。

理想の奉仕を学ぶ場でもあります。

本来、ロータリーは「アイ・サーブ」で私が奉仕する世界で、団体で何かをするところではありませんが、クラブ、地区、あるいは世界をひとつにまとめて奉仕をすることもあります。

それは一つの勉強の仕方、奉仕を学ぶために練習をしているともいえます。

学んだ結果を、個人があるいは御自分の会社があるいは自分の職場で、地域社会、自分のまわりに実践することが出来るように練習します。

「ロータリー研究会」についてお話しします。

毎年11月中旬過ぎに「ロータリー研究会」が行われています。

出席義務者は、ガバナー、パストガバナーで、日本・韓国・台湾などの地域から500～600人の参加で東京や大阪で開催されます。新しいロータリーの話が中心です。

R I 会長、国際ロータリー理事が何名かで2日間カンズメ状態、3～4日拘束されます。

一昨年話題ですが、2750地区・ミクロネシアの水の問題の深刻な状態です。

井戸を掘っても2mくらいで海水が出て飲料水になりません。

当初はアメリカから浄水機などを運びいれたりしていましたが、お金などが大変だとのことで、日本とハワイのロータリーがマッチング・グラントで新しい事業として飲料水をつくる装置を設置しました。

海水を木の箱にいれ上部にガラスの板を斜めに設けることにより、蒸発した水を貯めるというシンプルなもので、アメリカから取り寄せるとパテントの問題で高額になるため、中国から部品を調達して、ロータリアンが現地で組み立てることにより一基500ドル程度、何十分の一の費用で設置できるようになりました。

今は、より安価にするため現地の人に現地の材料で作ることを指導しています。

次にWCS（世界社会奉仕）の話です。タイで5万円でダムを作る計画がありその金額でのダム建設は無理だろうと思ってクレームを付けに行ったわけですが、沢に50cmくらいの高さで水を堰き止める堤防を作る事業でした。

山岳地帯で発生する鉄砲水被害を減らすために、国へダム建設を要望したが認められないためにタイ国王の発案により幅4～5m・高さ50cmほどの堰を多数作るというものでした。

水の力を弱め地面に浸透する時間をつくる、現在数百基できているそうです。

最初はコンクリートを使っていましたが、今では竹と石の組み合わせで可能と現地指導しています。

中略（残飯利用のガス発生装置について・・・）

ロータリーのやっている仕事というのは、何かを寄付することではなく教育することを一生懸命やっているわけです。

私達も何をすればいいのかを見つめていかなければなりません。

最後の目的は多くの方に実行して協力してもらうようにもって行かなければなりません。

中略（寄付行為、決議23-34、ポリオ・プラス、CLPについて）

トピックス的に話をしてしまいましたが、

「入りて学び、出でて奉仕せよ」

国際協議会会場の入り口に英語、日本語その他世界各国語で書かれていますが、「人のやってることをみて参考にして、家に帰り実践するといいですよ」程度のことかなとも思います。

ロータリーは職業奉仕です。最終的には自分の仕事に結びつく形で会得をして生き残ることが重要かと考える一人です。

（会報担当者：弗田 和則 委員）